

【2023年度発行】

# 福岡市グリーンボンド インパクトレポート

2024年11月



## 発行概要

福岡市は、脱炭素社会の実現に向け、「2040年度温室効果ガス排出量実質ゼロ」のチャレンジを掲げ、省エネルギー機器の導入や再生可能エネルギーの利用拡大など、様々な取り組みを進めており、2021年度からその資金調達のひとつとしてグリーンボンドを活用しています。

福岡市では、今後も投資家の皆様のご支援をいただきながら、市民・事業者の皆様と一体となって、「カーボンニュートラルを実装した都市」の実現に向けた取り組みを進めてまいります。

銘柄 福岡市2023年度第7回公募公債（グリーンボンド・10年）

年限 10年（満期一括償還）

発行額 80億円

利率 0.728%

発行日 2024年1月30日

購入対象 機関投資家

対象プロジェクト 市有施設への省エネ性能の高い機器等の導入、地下鉄事業、水道事業、水害対策事業 等

## 【参考】グリーンボンド適合認証の概要

福岡市では、グリーンボンドの発行に際して、対象プロジェクトや資金管理の方法等について、「福岡市グリーンボンド・フレームワーク」を定めています。このフレームワークは、国際資本市場協会（ICMA）の「グリーンボンド原則2021」及び「環境省グリーンボンドガイドライン2022年版」に適合していることについて、第三者機関（株式会社格付投資情報センター（R&I））の認証を受けています。

	事業区分	対象プロジェクト
①	再生可能エネルギー	市有施設への再生可能エネルギー設備導入
②	省エネルギー	市有施設への省エネ性能の高い機器等の導入
③	汚染の防止と管理	ごみ処理施設整備、下水道施設整備
④	自然資源・土地利用の持続可能な管理／生物多様性保全	公園整備
⑤	クリーンな輸送	地下鉄事業、電気自動車等及び充電・充てん設備導入
⑥	持続可能な水資源管理	水道事業
⑦	気候変動への適応	水害対策事業、道路整備 （緊急輸送道路整備や排水性・透水性舗装）
⑧	グリーンビルディング	市有施設の新築、改修

## 充当金額一覧

	事業区分	対象プロジェクト	充当金額 (百万円)	主な環境改善効果(※)
①	気候変動への適応	水害対策事業 道路整備(緊急輸送道路整備や排水性・透水性舗装)	2,792	<ul style="list-style-type: none"> <li>■雨水整備レインボープラン天神 ・第2期事業実施(対象区域 約180ha)</li> <li>■雨水整備Doプラン2026 ・地区数 12/33地区完了</li> <li>■河川水路改良事業 周船寺川 外20河川 6池</li> <li>■緊急輸送道路整備 千代今宿線、国道3号線 外</li> </ul>
②	クリーンな輸送	地下鉄事業 電気自動車等及び充電・充てん設備導入	1,553	<ul style="list-style-type: none"> <li>■地下鉄事業 ・CO<sub>2</sub>抑制量 約52,000 t-CO<sub>2</sub>/年(地下鉄事業全体)</li> <li>・輸送人員数 3073.4万人増加</li> <li>■電気自動車等及び充電・充てん設備導入 ・EV導入 軽自動車10台、普通車1台 ・充電設備5口</li> </ul>
③	グリーンビルディング	市有施設の新築、改修	1,044	BELS認証(☆☆☆☆☆) ZEB Ready取得
④	持続可能な水資源管理	水道事業	1,000	<ul style="list-style-type: none"> <li>■配水管整備事業 ・約43.7kmの整備を実施 うち、耐震ネットワーク工事の実施 約2.70km (水道事業全体)</li> </ul>
⑤	省エネルギー	市有施設への省エネ性能の高い機器等の導入	840	CO <sub>2</sub> 抑制量 886 t-CO <sub>2</sub> /年
⑥	汚染の防止と管理	下水道施設整備	507	<ul style="list-style-type: none"> <li>■未整備区域の解消 処理面積 約1 ha</li> <li>■合流式下水道の改善 分流化面積 約6 ha</li> </ul>
⑦	自然資源・土地利用の持続可能な管理/生物多様性保全	公園整備	264	<ul style="list-style-type: none"> <li>■緑地保全事業 保全面積 1,088.73 m<sup>2</sup> CO<sub>2</sub>吸収量 0.44 t-CO<sub>2</sub>/年</li> <li>■緑化推進事業 CO<sub>2</sub>吸収量 0.67 t-CO<sub>2</sub>/年</li> <li>■港湾環境整備事業 対象区域 12ha</li> </ul>
			8,000	

# 充当事業①-1

## 水害対策事業（雨水排水施設整備）

事業区分	気候変動への適応
事業概要	<p>■ 雨水整備レインボープラン天神 天神周辺地区の浸水対策 雨水排水施設、雨水浸透施設の整備 (第2期事業期間：令和元年度～8年度)</p>
充当金額	1,249百万円

### 環境改善効果

#### ● 第2期工事の進捗状況（下水道事業全体）

- ・ 対象区域 約 180 ha
- ・ 整備水準 59.1 mm/時（10年確率）
- ・ 令和5年度の主な整備施設  
中部6号幹線（継続）、中部8号幹線（継続）  
中部9号幹線（継続）、中部12号幹線（着手）

#### ■ 雨水排水施設の整備イメージ



〈施工中〉



〈完成〉

天神周辺地区は地下空間利用が高度に進み、都市機能が集積していることから、浸水による影響が極めて大きいため、雨水整備水準を引き上げて、浸水に対する安全度の向上を図っています。



【天神周辺の浸水状況（H11.6.29）】

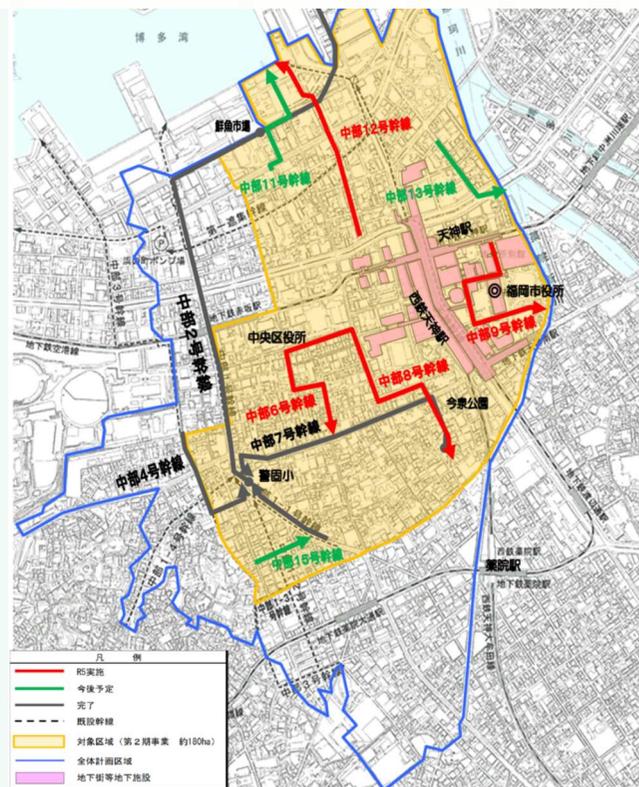
### 総合的な浸水対策

#### ● 雨水整備水準

〔時間雨量〕 59.1 mm → 79.5mm



※雨水整備にあたっては、時間雨量59.1mm(10年確率)に対応した施設整備を優先的にを行い、平成11年6月29日の降雨である時間雨量79.5mmを将来的な目標とします。



〈事業平面図〉

# 充当事業①-2

## 水害対策事業（雨水排水施設整備）

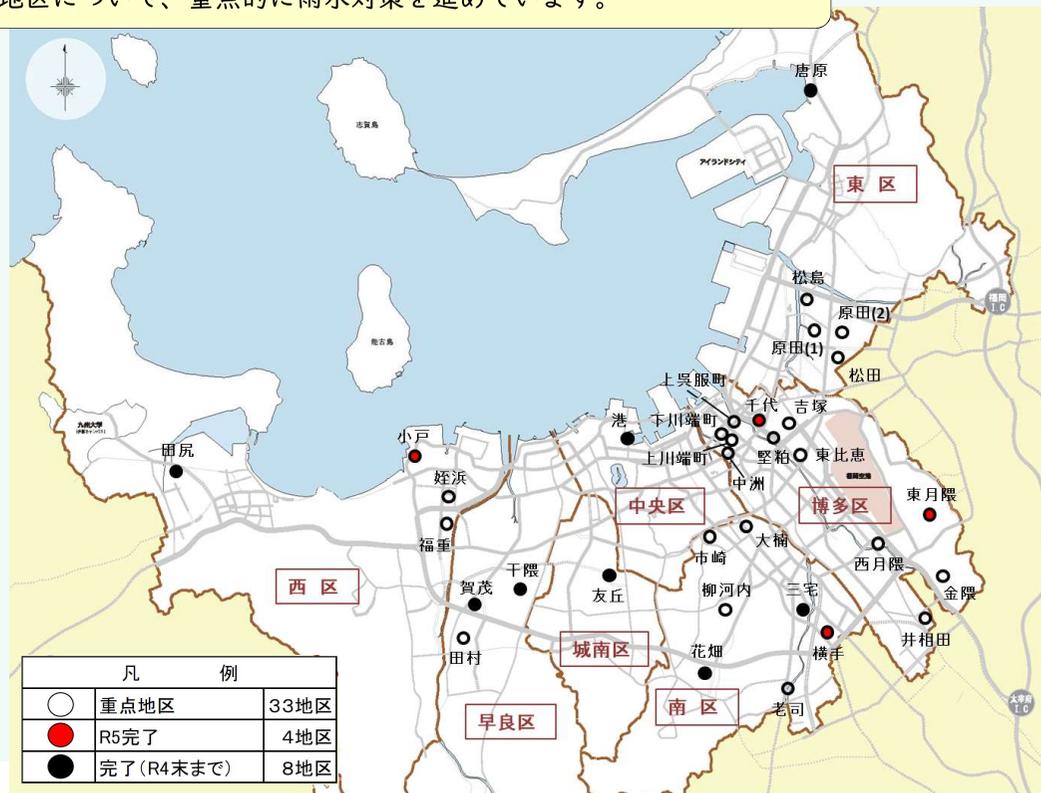
■ 事業区分	気候変動への適応
■ 事業概要	<b>■ 雨水整備Doプラン2026</b> 重点地区における浸水対策（事業期間：令和元年度～8年度） 雨水排水施設の整備等
■ 充当金額	713百万円

### 環境改善効果

- 雨水整備Doプラン2026の進捗状況（下水道事業全体）
  - ・ 地区数 12 地区完了/33地区
  - ・ 整備水準 59.1 mm/時（10年確率）
  - ・ 令和5年度事業量 4地区完了（東月隈、千代、横手、小戸）



平成元年度から平成30年度までの豪雨で、浸水被害が重大であった地区について、重点的に雨水対策を進めています。



〈重点地区の箇所図〉

# 充当事業①-3

## 水害対策事業（河川水路改良事業）、道路整備

■ 事業区分	気候変動への適応
■ 事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 河川水路改良事業</li> <li>■ 緊急輸送道路整備や排水性・透水性舗装</li> </ul>
■ 充当金額	830百万円（河川水路改良事業561百万円、緊急輸送道路整備事業269百万円）

### 環境改善効果

#### ■ 河川水路改良事業

##### ● 施工箇所名

周船寺川 外20河川 6池

- 河川拡幅や治水池整備等を実施し、浸水災害等発生時の浸水被害を軽減
- 河川施設などにおいて、計画的に維持修繕・更新等を実施し、浸水災害など発生時の浸水被害を軽減

#### ■ 緊急輸送道路整備事業

##### ● 施工工事の箇所名

千代今宿線、国道3号線 外1路線

緊急輸送道路の整備

##### ● 施工工事の箇所名

清水干隈線 外3路線

緊急輸送道路の整備、透水性・排水性舗装の整備



〈改修前〉



〈改修後〉

〈河川水路改良事業のイメージ〉

## 充当事業②-1

### 地下鉄事業

■ 事業区分	クリーンな輸送
■ 事業概要	営業線改良事業 地下鉄施設の改良工事、設備更新 (2000N系車両大規模改修 外)
■ 充当金額	1,530百万円

### ■ 環境改善効果

- CO<sub>2</sub>抑制量 年間約 52,000 t-CO<sub>2</sub>/年 (地下鉄事業全体)  
※第4回北部九州圏パーソントリップ調査、国土交通省白書より算出

### ● 輸送人員の推移

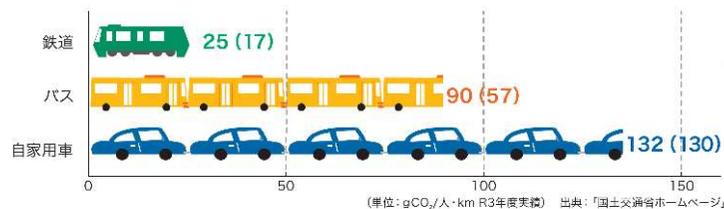
輸送人員の増加数  
3073.4 万人

令和4年度 1億4569.2 万人

令和5年度 1億7642.6 万人



〈2000N系車両大規模改修〉



鉄道が1人を1km運ぶ時の  
二酸化炭素の排出量は  
自家用車の約1/5

※令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う各輸送機関の利用者数の減少により、例年と比べて輸送量当たりの排出量が数割に高くなる傾向にある  
※ ( ) 内は令和元年度実績

## 充当事業②-2

### 電気自動車等及び充電設備導入

■ 事業区分	クリーンな輸送
■ 事業概要	電気自動車等及び充電設備の導入
■ 充当金額	23百万円

#### ■ 環境改善効果

- 電気自動車導入台数 軽自動車 10 台  
CO2削減量 9.4 t-CO<sub>2</sub>/年
- 充電設備設置数 5 口

##### 配置場所

早良区役所、東部動物愛護管理センター  
埋蔵文化財センター、姪浜渡船場 外

##### 設置場所

植物園、内野人権まちづくり館  
家庭動物啓発センター、自動車管理事務所

- 電気自動車導入台数 普通車 1 台  
CO2削減量 0.9 t-CO<sub>2</sub>/年

##### 配置場所

本庁舎



電気自動車と充電設備

# 充当事業③

## 市有施設の新築、改修

### 事業区分

グリーンビルディング

### 事業概要

- 福岡市舞鶴庁舎の新築：発達障がい者支援と障がい者就労支援を一体的に行う施設及び中央障がい者フレンドホーム
- 西都北公民館・老人いこいの家の新築

### 充当金額

1,044百万円（福岡市舞鶴庁舎804百万円、西都北公民館・老人いこいの家240百万円）

### 環境改善効果

● ZEB Ready取得

50%の省エネを達成

● BELS認証（☆☆☆☆☆）

#### 福岡市舞鶴庁舎について

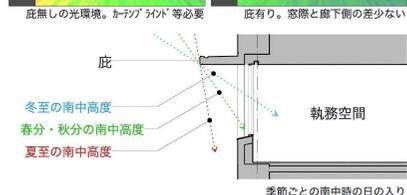
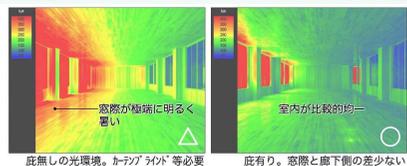
#### ■熱負荷を軽減した外観



建物の南側は日射制御する庇とマリオンで構成し、熱負荷を軽減

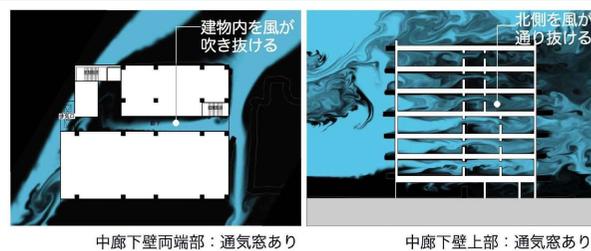
福岡市舞鶴庁舎

#### ■庇・マリオンによる太陽直射光のカット



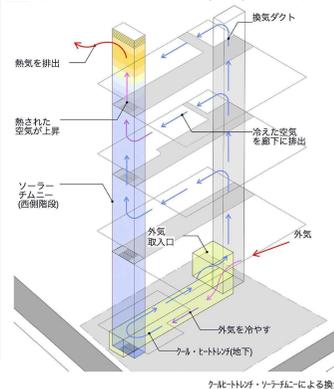
建物南側の執務空間への太陽光を制御することで、窓側の執務環境を向上し、冷房負荷を軽減

#### ■建物内に風のみちをつくる



廊下と居室の間に換気窓を設け、空調を使わない中間季（春・秋）に風が建物全体を通り抜けます。また換気できる開口部を設け、感染症予防にも対応。

#### ■クールヒートトレンチ・ソーラーチムニー換気



##### クールヒートトレンチ

外気を地下ピットへ引き込み、地中熱により温度調節を行い、各階廊下へ吹出。非空調エリアの共用部の温熱環境を改善します。

##### ソーラーチムニー

階段で熱された空気を階段室上部で排気します。発生する上昇気流で周囲の換気・空気の循環を促します。

# 充当事業④

## 水道事業

■ 事業区分	持続可能な水資源管理
■ 事業概要	配水管整備事業 ※第2次福岡市水道中期経営計画（令和3～6年度）
■ 充当金額	1,000百万円

### 環境改善効果

- 整備距離 約 **43.7** km（水道事業全体）  
（うち、耐震ネットワーク工事 約 2.70 km）

#### 配水管の更新

土壌や地下水の状況などの埋設環境に応じた適切な時期に更新できるよう、計画的に取り組んでいます。  
特に、ポリエチレンスリーブ非装着管は、腐敗性が高い土壌においては、令和8年度までに更新を完了予定です。  
なお、新設・更新時は、全て地震の揺れに強い「耐震管」を設置します。



〈撤去：イメージ〉

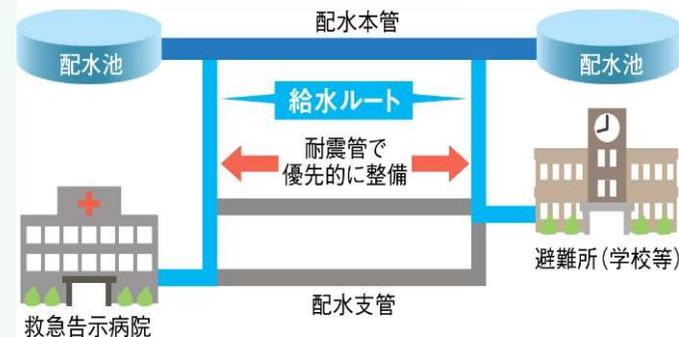


〈布設：イメージ〉

#### 耐震ネットワーク工事

震災時でも水道水を届けられるよう、「福岡市防災計画」で指定された避難所や緊急告示病院など重要給水施設414施設のうち、給水ルートの耐震化がなされていない256施設への給水ルート（配水管）を優先的に耐震化する工事を実施しています。

#### 耐震ネットワーク工事のイメージ図



# 充当事業⑤

## 市有施設への省エネ性能の高い機器等の導入

■ 事業区分	省エネルギー
■ 事業概要	市有施設の空調機器・照明設備機器、変圧器等を省エネ性能の高いものへ改修する
■ 充当金額	840百万円

### ■ 環境改善効果

● 省エネ機器導入による

CO<sub>2</sub>削減量（市有施設全体）：886 t-CO<sub>2</sub>/年

#### 省エネ機器に改修した市有施設

- 市民センター
- 公民館（2館）
- 地域交流センター
- 中央区役所交通局合同庁舎
- こども総合相談センター
- 東部資源化センター
- 臨海工場
- マリンメッセ福岡A館エキシビジョンパーク及び第2・第3駐車場
- 福岡市役所本庁舎
- 市営住宅住棟（77棟）
- 水処理センター 外

こども総合相談センター空調機更新



臨海工場冷凍機更新



# 充当事業⑥

## 下水道施設整備

■ 事業区分	汚染の防止と管理
■ 事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 公共下水道の未整備区域の解消等により、公共用水域の水質保全等を図る</li> <li>■ 浸水対策と連携した分流化整備により、公共用水域の水質保全を図る</li> </ul>
■ 充当金額	507百万円

## 環境改善効果

### ■ 公共下水道未整備区域の解消事業

- 処理面積 約 1 ha (下水道事業全体)
- 主な整備区域
  - ・ 大字脇山 外

本市の下水道人口普及率は、令和5年度末で99.7%となっており、未整備区域の解消を進めています。



▲未整備地区解消事業 整備地区

### ■ 合流式下水道の改善事業

- 分流化面積 約 6 ha (下水道事業全体)
- 主な整備区域
  - ・ 天神周辺

天神及び博多駅周辺地区（都心部）において、公共用水域の水質保全等を図るため、浸水対策とセットで分流化を進めています。



▲合流式下水道 整備地区



▲合流式下水道の改善（分流化のイメージ）

# 充当事業⑦

## 公園整備

■ 事業区分	自然資源・土地利用の持続可能な管理/生物多様性保全
■ 事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 緑地保全事業      特別緑地保全地区の買い入れによる緑地保全</li> <li>■ 緑化推進事業      街路樹の新植</li> <li>■ 港湾環境整備事業    アイランドシティはばたき公園の整備</li> </ul>
■ 充当金額	264百万円（緑地保全175百万円、緑化推進4百万円、港湾環境整備85百万円）

## 環境改善効果

### ■ 緑地保全事業

- 買入面積： 1,088.73 m<sup>2</sup>
- CO<sub>2</sub>吸収量： 0.44 t-CO<sub>2</sub>/年

失われやすい民間の緑地を買い入れ、CO<sub>2</sub>の吸収源を確保

### ■ 緑化推進事業

- 街路樹の新植（20本）による
- CO<sub>2</sub>吸収量： 0.67 t-CO<sub>2</sub>/年

### ■ 港湾環境整備事業

- アイランドシティはばたき公園の整備
- 対象区域： 12 ha



アイランドシティはばたき公園「野鳥観察の丘」全景



街路樹新植のイメージ



〈参考〉

福岡市の地球温暖化対策について

# 福岡市地球温暖化対策実行計画（第5次・令和4年8月改定）について

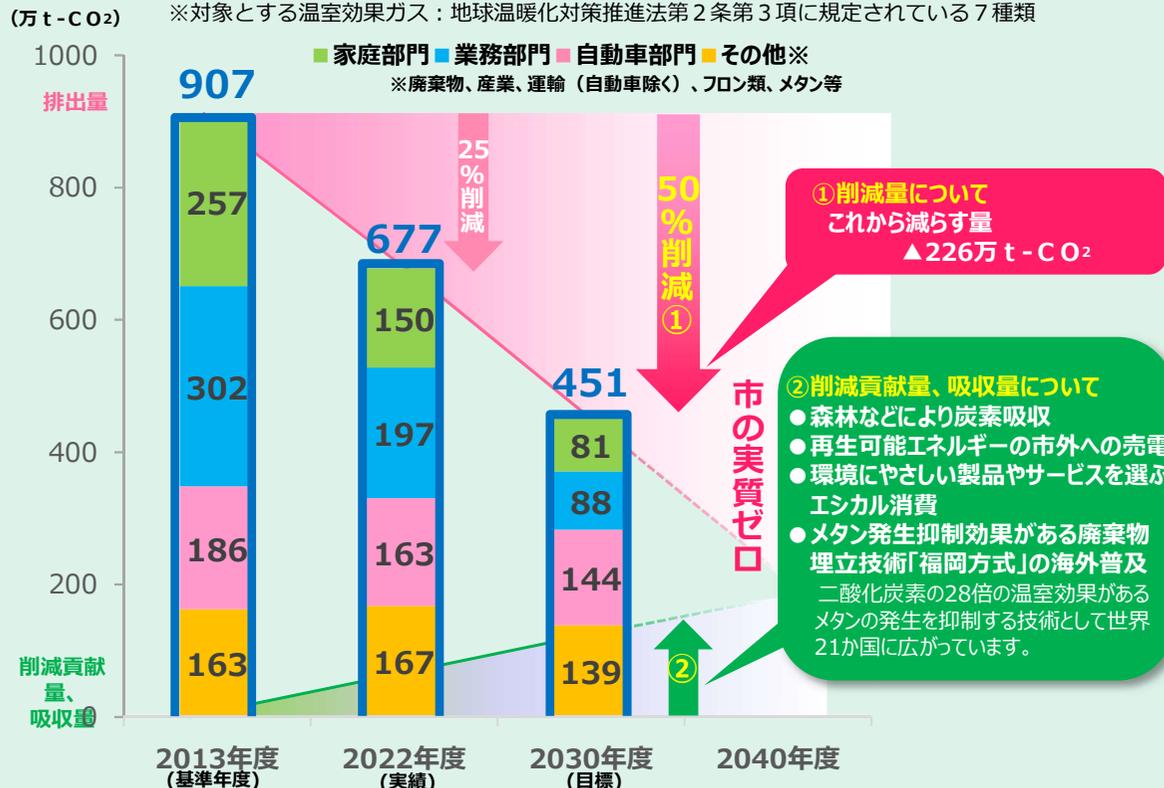
■ 近年の豪雨や猛暑などの気象災害の激甚化や、パリ協定を契機とした国内外の潮流を踏まえ、脱炭素社会実現に向けた取組みを積極的に推進するため「福岡市地球温暖化対策実行計画」を策定

**めざす姿**      **カーボンニュートラルを実装した都市を目指して**  
**チャレンジ目標**      **2040年度 温室効果ガス排出量 実質ゼロ**

**2030年度目標**

- 目標① 市域の温室効果ガス排出量：**50%削減**
- 目標② 市外への温室効果ガス削減貢献量、吸収量：**100万t-CO<sub>2</sub>**

※基準年度：2013年度、計画期間：2022～2030年度  
 ※対象とする温室効果ガス：地球温暖化対策推進法第2条第3項に規定されている7種類



**取組みを進める対象**



**取組みの視点**

- ◇ ライフスタイル、ビジネススタイルの転換 (エシカル消費、ESG指標、オンライン化 など)
- ◇ 将来の世代を見据える (環境教育・学習の推進 など)
- ◇ 様々な主体とのパートナーシップ (産学官・都市間連携、国際貢献、地域循環共生圏 など)
- ◇ 新たなイノベーションの積極的な取り込み (スタートアップ、技術導入の支援 など)

# 主な施策の実施状況（令和6年度予算）①

## 家庭部門

★新規☆拡充

### ☆住宅用エネルギーシステムの導入支援事業 3億1,694万円【環境局】

△CO<sub>2</sub>  
1,406  
トン/年

- ・住宅用エネルギーシステムの設置経費を補助

#### 補助額（上限）

太陽光発電システム：2万円/kW（集合住宅60万円、戸建住宅10万円）

リチウムイオン蓄電システム：機器費の1/2（40万円）

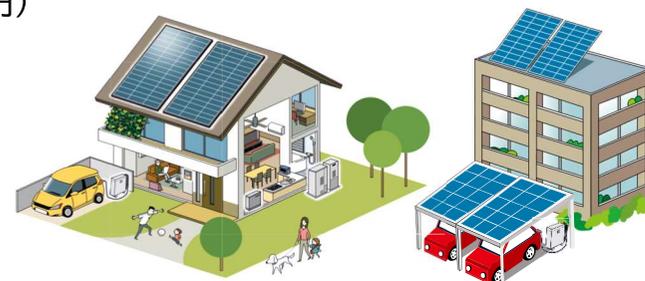
V2Hシステム：機器費の1/2（20万円）

家庭用燃料電池：定額5万円

高効率給湯器（エコユート）：定額2万円 新規

#### 補助枠

2億6,950万円



### ☆ECOチャレンジ応援事業 1,534万円【環境局】

△CO<sub>2</sub>  
320  
トン/年

- ・市民の脱炭素行動に対してポイント（交通系ICカードポイント）を付与

#### 募集世帯

拡充 R5 2,000世帯 ⇒ R6 4,000世帯

#### ポイント付与数

年間上限5,000ポイント/世帯

#### 都市圏との連携

R5:新宮町 ⇒ R6:5市町参画  
(300世帯) (3,000世帯)

5市町:大野城市、宗像市、古賀市、志免町、新宮町

都市圏域の取組みへと規模拡大！

募集上限に到達  
(7/10、去年は7/28)

令和6年度 ECOチャレンジ 脱炭素! みんなで!チャレンジ 参加世帯大募集!

電気・ガスの使用量削減や、省エネ家電の購入など身近な脱炭素行動を実施して **最大5,000円相当のエコチャレポイント**をゲットしよう!

募集期間 令和6年 5月7日～12月31日

募集世帯 総計 **7,000世帯** (先着)

★福岡市、大野城市、宗像市、古賀市、志免町、新宮町にお住まいの方限定。  
※各市町ごとに受付世帯数の上限があります。

貯まったエコチャレポイントは **はやかけん**、**こもか**、**スゴカ** のポイントに交換できます!

※付与されたポイントを利用するためには、駅などの券売機等でチャージしてください。  
※ポイント(1円単位)から交換できます。

福岡市地球温暖化対策市民協議会

## 主な施策の実施状況（令和6年度予算）②

### 家庭部門

★新規☆拡充

### ★地域の脱炭素型ライフスタイルサポート事業 1,140万円【環境局】

#### 支援策

地域における環境人材の育成や脱炭素行動への転換を後押し

⇒ 脱炭素型ライフスタイルを地域へ！

- 脱炭素ファシリテーター技術取得の支援
- 行動変容アプリの提供

環境行動の可視化  
スコア化ランキングなど



### 広報、啓発 1,368万円【環境局】

#### 動画やSNSの活用

日常生活のなかで取り組める脱炭素行動、そのCO2削減効果や光熱費の節約額などを動画やSNS等でプッシュ型発信



上手に、お得に  
取り組もう！

はじめよう！  
脱炭素行動

#### ★住宅の太陽光発電ポテンシャルの見える化

住宅への太陽光発電導入の後押しとして、日当たり等も考慮した住宅ごとの太陽光パネルの設置可能容量や設置費用、電気代の節約額などがシミュレーションできるWEBサイトを開設



5 kW設置で  
売電収入7000円/月

【検索結果の例】

設置費用  
130万円程度

⇒昨年度、従来の市政だより（約88万部）や福岡市ホームページでの広報に加え、Yahoo!トップページにおけるバナー広告やGoogleのディスプレイ広告、検索連動型（リスティング）広告、LINEやYouTube、Instagramなどの媒体を活用した広報啓発を実施。昨年度の福岡市における脱炭素関連の広告表示回数実績9,991,107回

# 主な施策の実施状況（令和6年度予算）③

広報・啓発

市政だより同時印刷物の全戸配布（約87万世帯へ配布）  
 例年市政だより7月1日号で同時広報物を配布

## 1世帯あたり503kg/年間のCO<sub>2</sub>削減に向けて、『脱炭素』につながる行動を選択していこう！

4冊はコチラ

**住居** おうちでできる環境配慮

**移動** 公共交通機関や自転車・徒歩の活用

さあ、今日から/  
**脱炭素**  
 ライフスタイルへ！

脱炭素型ライフスタイルは、CO<sub>2</sub>の削減と、  
 経済的で快適な生活につながります。

2030年度  
 50%削減に向けての  
 CO<sub>2</sub>排出削減量  
 1世帯あたり/年間 **503kg**

アイコンの説明 CO<sub>2</sub>削減効果 暮らしのメリット

**暮らし** 環境配慮を促すさまざまな取り組み

**買い物** 環境配慮を促すさまざまな取り組み

**01 再生可能エネルギーの利用**  
 太陽光発電設備を設置すると...

821kg CO<sub>2</sub>/年  
 電気代 89,712円/年 お得

**02 住宅窓の改修**  
 熱の出入りの50%以上は窓だから！  
 二重サッシの設置や、  
 複層ガラスへ交換すると...

149kg CO<sub>2</sub>/年  
 電気代 16,464円/年 お得

**03 省エネ家電の購入**  
 10年前のエアコンや冷蔵庫を  
 省エネ家電に買い替えると...

37-50kg CO<sub>2</sub>/年  
 電気代 6,110円/年 お得

**04 電気自動車等の購入**

800kg CO<sub>2</sub>/年  
 総料金 56,350円/年 お得

**05 カーシェアリングサービスの利用**

491kg CO<sub>2</sub>/年  
 149,247円/年 お得

**06 徒歩や自転車の移動**  
 徒歩や自転車、  
 公共交通機関の  
 利用を心がけると...

110.4kg CO<sub>2</sub>/年  
 総料金 8,386円/年 お得

**07 エコドライブ**  
 エコドライブを心がけると...

115kg CO<sub>2</sub>/年  
 総料金 8,735円/年 お得

**08 節水**  
 節水シャワーヘッドと  
 節水アダプタを設置すると...

114.3kg CO<sub>2</sub>/年  
 水道代 11,517円/年 お得

**09 食品ロスの削減**  
 食品ロスを半分に減らすと...

84kg CO<sub>2</sub>/年  
 食費 17,153円/年 お得

**10 再配達抑制**  
 時間指定や置き配などの利用で、  
 月3回再配達を減らすと...

16.6kg CO<sub>2</sub>/年  
 再配達を依頼する必要があるが、  
 ストレスもなし。

**11 ごみの減量**  
 1人日に100gの  
 ごみを減らすと...

39kg CO<sub>2</sub>/年  
 ごみ減価 798円/年 お得

**12 節電**  
 照明、テレビの使用時間を1時間削減し、エアー  
 コンのフィルターを月に1-2回清掃すると...

13kg CO<sub>2</sub>/年  
 電気代 1,428円/年 お得

**13 サステナブルファッション**  
 1年間に購入する服の  
 10% (1.8着)を  
 リサイクル素材を  
 使った服にし、  
 購入量を1/4程度に  
 すると...

223kg CO<sub>2</sub>/年  
 長く大切にすることで、  
 買換えの頻度を減らす。

**14 エシカル消費**  
 年間のプラスチック消費量は、1世帯あたり約1.67kg。  
 このうち約1/4 (約0.20kg)を環境に配慮したバイオ  
 プラスチックを使った商品に替えると...

19.2kg CO<sub>2</sub>/年  
 環境に配慮した商品、サービスの  
 多様化や価格低減につながる。

**15 地産地消**  
 県内の消費量は、福岡市が  
 日本一！ (23.5kg/年\*)  
 外国産ではなく、地元産の  
 鶏肉を購入すると...

8.7kg CO<sub>2</sub>/年  
 鶏肉1kgあたり CO<sub>2</sub>約370g  
 約100km 約1,000km以内  
 ※外産品に替えたら内産品の鶏肉1kgを購入した場合

●1つのアクションで大きく貢献

**脱炭素TOP3!**

- 01 再生可能エネルギーの利用 → 821kg CO<sub>2</sub>/年
- 04 電気自動車等の購入 → 800kg CO<sub>2</sub>/年
- 05 カーシェアリングサービスの利用 → 491kg CO<sub>2</sub>/年

●いくつかの組み合わせで貢献

例えば

- 02 住宅窓の改修 + 06 徒歩や自転車の移動 + 11 ごみの減量 + 13 サステナブルファッション → 計521.4kg CO<sub>2</sub>/年
- 03 省エネ家電の購入 + 07 エコドライブ + 08 節水 + 13 サステナブルファッション → 計489.3~502.3kg CO<sub>2</sub>/年

●日々の積み重ねで無理なく貢献

実は脱炭素

- 06 徒歩や自転車での移動 + 08 節水 + 09 食品ロスの削減 + 10 再配達抑制 + 15 地産地消 → 計334kg CO<sub>2</sub>/年

市役所も積極的に「脱炭素」につながる取り組みを進めています！

福岡市役所では、エネルギー使用に伴う二酸化炭素排出量を2030年度に70% (2013年度比)削減するという目標を掲げています。目標達成のため、市有施設の省エネ化、再生可能エネルギー発電設備の導入、庁用車の脱ガソリン車化、使用電力の再エネ化などに取り組んでおり、2022年度は56%削減することができました。

日本初！水素で走るごみ収集車を導入

福岡市は、2024年3月にFCごみ収集車（水素を燃料として走行するごみ収集車）を日本で初めて導入しました。FCごみ収集車は、CO<sub>2</sub>を出さないため環境にやさしいだけでなく、夜間のごみ収集車の騒音低減にもつながります。

←市政だより R6.7.1号 同時印刷物

## 主な施策の実施状況（令和6年度予算）④

### 広報・啓発

#### ② SNSでの情報発信

- ・福岡市チャレンジ！脱炭素 インスタグラム（令和4年5月開設）  
令和6年度：13投稿
- ・ふくおかサポート（令和5年3月末サービス開始）  
トップ画面にバナー掲載

#### ③ 福岡市環境局HP（温暖化対策・エネルギー政策）

- ・各部門別での取組み（支援策）
- ・温暖化対策に関する現状と計画、方針
- ・チャレンジ！脱炭素社会 等掲載

#### ④ 出前講座

「環境・エネルギー対策推進員」による出前講座の実施

【テーマ】

- ・今、私たちの未来のためにできること～「脱炭素社会」の実現に向けて～
- ・育てよう！緑のカーテン

【受講団体】

公民館、校区環境活動委員会、小・中学校、大学、企業 等

#### ⑤ 環境教育副読本

- ・「わたしたちのまちの環境」市内全小学5年生に配布



あなたにぴったりな情報をお届け!



環境教育副読本

# 主な施策の実施状況（令和6年度予算）⑤

業務部門

★新規☆拡充

政令市初

## ★金融機関と連携したカーボンニュートラル経営促進事業 947万円【環境局】

△CO<sub>2</sub>  
4,800  
ト/年

・CO<sub>2</sub>排出削減を目的とした融資を受ける際にかかる融資手数料を補助

補助対象者	補助額（上限額）	補助枠
市内の事業者	融資手数料の1/2（30万円）	900万円

## ☆事業所への再エネ・省エネ設備導入支援事業 7,320万円【環境局】

△CO<sub>2</sub>  
480  
ト/年

・事業所の太陽光発電設備及び省エネ設備の設置経費を補助

### 再エネ設備導入支援事業

補助対象者	補助額（上限額）
<ul style="list-style-type: none"> <li>PPA事業者</li> <li>市内の事業者</li> </ul>	5万円/kW(100万円→500万円) <span style="color: red;">● 拡充</span>
補助枠	2,500万円



### 省エネ設備導入支援事業

補助対象者	補助額（上限額）
市内の中小事業者等	機器費の1/3 → 1/2 <span style="color: red;">● 拡充</span> (100万円→300万円)
補助枠	4,000万円

省エネ設備補助申請は  
補助枠に到達



# 主な施策の実施状況（令和6年度予算）⑥

## 業務部門

### 脱炭素建築物誘導支援事業 5,500万円【環境局】

△CO2  
6140  
ト/年

補助申請数 34件  
(前年同月比5.6倍・9月末時点)

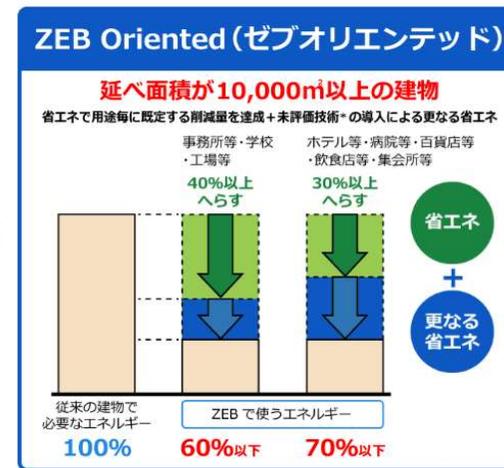
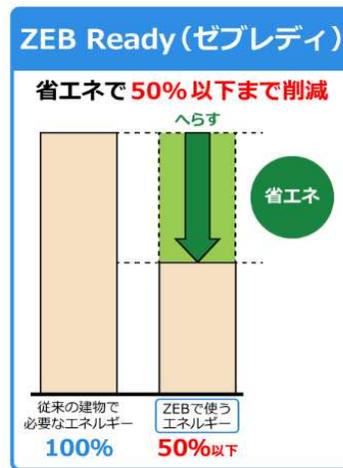
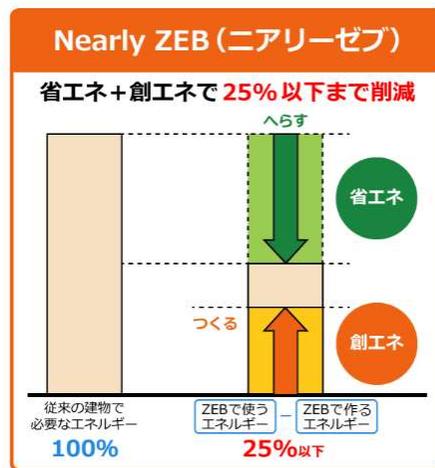
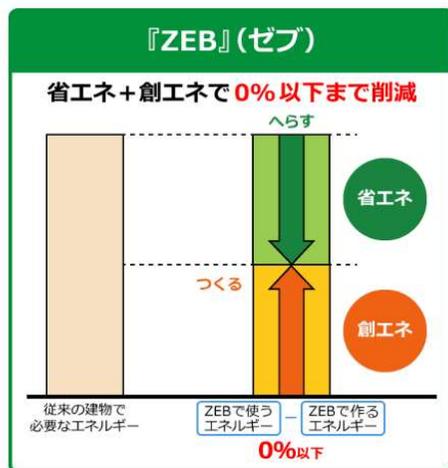
・ビルのZEB化、集合住宅のZEH-M化に係る設計費用を補助



補助要件の  
拡大

### ZEB(ゼブ)とは

- Net Zero Energy Building (ネット・ゼロ・エネルギー・ビル) の略称で、快適な室内環境を実現しながら、建物で消費する年間の一次エネルギーの収支をゼロにすることを目指す建物のこと
- 省エネによって使うエネルギーを減らし、創エネ（主として太陽光発電）によって使う分のエネルギーを創ることでエネルギー消費量を正味（ネット）でゼロにすることができる。



# 主な施策の実施状況（令和6年度予算）⑦

5月2日 福岡市環境局 リリース

## 令和6年度「カーボンニュートラルパッケージ」スタート!!

過去最大の  
補助規模!

### 1.市民向けメニュー

- ECOチャレンジ応援事業
- 住宅用エネルギーシステム導入支援事業
- 電気自動車・燃料電池自動車等の購入補助
- 充電設備設置補助

### 2.事業者向けメニュー

- 事業所の省エネ支援事業
- 事業所の省エネ・再エネ設備導入支援事業
- 燃料電池自動車等の購入補助
- 金融機関と連携したカーボンニュートラル経営促進事業
- 脱炭素建築物誘導支援事業

### 3.予算規模

- 過去最大の補助規模 **4億9,410万円**
- CO2削減効果（見込み） **年間計14,039トン**

森林面積約2,750ha（みずほpaypayドーム398個分）のCO2吸収量に相当

## 主な施策の実施状況（令和6年度予算）⑧

業務部門

★新規☆拡充

### 福岡グリーンイノベーションチャレンジ 1,758万円【経済観光文化局】

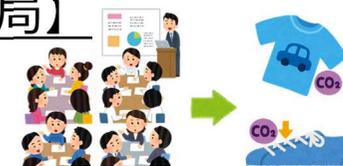
市内中小企業のカーボンニュートラルに資する製品・サービス開発等を支援  
補助率2分の1（補助上限200万円） 募集件数5件程度

・これまでの支援実績

ITシステム	「温室効果ガス排出量の見える化と削減を支援する脱炭素シミュレーター」
	「高所作業車の使用減により CO2 排出量を削減するインフラ監視システム」
省エネ技術	「省エネルギー型輻射式空調設備の「負荷計算要領の確立」及び「製品改良」」
	「高耐久化技術を用いた有機ELデバイス」
CO2回収	「スケールアップに向けたCO2分離モジュール」
インフラ	「竹チップ乾燥手法と乾燥竹繊維の新たな活用法の検討に関する研究」

### ★福岡発カーボンゼロ商品創出支援 900万円【経済観光文化局】

カーボンゼロ商品創出に向けたアイデアソンの開催や  
商品・サービス開発のための専門家派遣等を実施



### ☆市営住宅の整備における脱炭素へ向けた取り組み 4,848万円【住宅都市局】

・ZEH水準への省エネ化や太陽光パネルの試行設置など脱炭素の取り組みの推進

#### ① ZEH水準への省エネ化

断熱性能や省エネ等級の向上を図り、令和6年度に着手する新築工事から全ての住棟をZEH水準への省エネ化

#### ② 太陽光パネルの試行設置の検討

新築工事の敷地内への太陽光発電設備の試行設置と合わせ、余剰電力を活用して自家消費量を向上させるモデル事業を検討



<弥永住宅集会所に試行設置された太陽光パネル>

## 主な施策の実施状況（令和6年度予算）⑨

### 博多港脱炭素化推進事業（カーボンニュートラルポート形成推進）4億2,934万円

【港湾空港局】

★新規☆拡充

- ・コンテナターミナル等における照明のLED化
- ☆市営渡船におけるバイオ燃料※導入の実証実験
- ☆コンテナターミナル内の車両におけるバイオ燃料導入の実証実験(環境局と連携)
- ・博多港カーボンニュートラルポート形成推進協議会の開催
- ★環境配慮型船舶に対するインセンティブ制度の導入 など



市営渡船(きんいん)



コンテナターミナル内の車両(構内トレーラーヘッド)

#### ※バイオ燃料

バイオマス(生物資源)を原料とする燃料のことで、化石燃料を代替するカーボンニュートラルな燃料として利用拡大が期待されている。

#### ＜環境配慮型船舶に対するインセンティブ制度の概要＞

民間事業者における環境配慮型船舶の導入促進を図るため、低炭素・脱炭素燃料を使用する船舶への入港料を減免。  
(令和6年4月から適用開始)

対象船舶	減免制度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ LNG燃料船</li> <li>・ 水素燃料船(燃料電池船を含む)</li> <li>・ バッテリー推進船</li> <li>・ アンモニア燃料船</li> <li>・ 合成燃料(グリーンメタン、グリーンメタノール)を使用する船舶</li> </ul>	入港料 全額免除
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ バイオ燃料を使用する船舶</li> <li>・ 合成燃料(重油、軽油)を使用する船舶</li> </ul>	入港料 燃料の混合割合に応じて減免割合を決定

# 主な施策の実施状況（令和6年度予算）⑩

## イノベーションの社会実証

公民連携ワンストップ窓口 **mirai@**  
実証実験プロジェクト

mirai@  
city.fukuoka

- 消費エネルギーゼロでCO2を削減  
放射冷却素材『SPACECOOL』の実証実験  
⇒ 太陽光からの熱をブロックする特殊なフィルムを用いて、省エネ効果を検証



太陽光の反射と赤外線放射を高効率で両立したゼロエネルギーの冷却素材

- AIをつかってムダなく省エネ  
『空調機器の遠隔制御』による実証実験

⇒ 気象予測や施設の利用状況などの様々な情報をAIにより解析し、遠隔から省エネ制御を行う



# 主な施策の実施状況（令和6年度予算）①①

## 自動車（モビリティ）部門

★新規☆拡充

### ☆次世代自動車の普及に向けた取組み 9,429万円【環境局】

△CO<sub>2</sub>  
529  
ト/年

・電気自動車・燃料電池自動車等の購入補助

・充電設備設置補助

補助額

EV10万円 PHEV 5万円 FCV60万円  
(電気自動車) (プラグインハイブリッド自動車) (燃料電池自動車)

自宅の再エネ電気で充電する場合は **5万円加算**

補助枠

**拡充** 6,400万円

補助額

急速充電 上限100万円/基  
 普通充電 上限100万円/施設（1基あたり20万円）

補助枠

**新規** 市民向け 2,000万円  
 事業所向け 500万円

### <トピック> EV車の「青パト」を市内で初めて導入

南区塩原校区では、子どもたちが将来にわたって、きれいな環境で生活できるよう、排気ガスを出さずにパトロールができないかと考え、これまで使用していた地域防犯パトロール車（青パト）が老朽化し買替をする機会に、EV車を導入しています。



### ☆市有施設への急速充電設備設置 5,710万円【環境局】

・3か所新設（①城南体育館、②城南区役所別館、③花畑園芸公園）

⇒ 市有施設で計12か所に

- ④ 南体育館
- ⑤ 福岡市海浜公園
- ⑥ 西南杜の湖畔公園
- ⑦ 西部工場
- ⑧ 臨海工場
- ⑨ ABURAYAMA FUKUOKA
- ⑩ 市役所本庁舎
- ⑪ 総合体育館
- ⑫ 福岡市民ホール



西南杜の湖畔公園第2駐車場

# 主な施策の実施状況（令和6年度予算）⑫

## 自動車（モビリティ）部門

★新規☆拡充

### ★バイオ燃料活用実証事業 811万円【港湾空港局・環境局】

実証期間  
R6.7～  
R6.12頃

- ・トラックやトレーラーなどでのバイオ燃料の活用実証  
（CO2排出削減効果、エンジンへの影響の有無等を検証）
- ・本実証事業のPR等の実施  
（実証中の車両へステッカーを貼付等）



①トレーラーヘッド  
博多港ふ頭株式会社様



②し尿運搬車  
公益財団法人ふくおか環境財団様



③灰運搬車  
大成管理開発株式会社様



④給食配送者  
九州商運株式会社様



⑤チルド車  
広徳輸送株式会社様



⑥タンクローリー  
松藤商事株式会社様

## 主な施策の実施状況（令和6年度予算）⑬

### 自動車（モビリティ）部門

★新規☆拡充

#### カーシェアリングの推進 283万円【環境局】

##### ●市有施設で再エネ100%電気によるEVカーシェアリングを実施中（R5.9～）

実施場所：西部地域交流センター「さいとぴあ」（西区西都2-1-1）内

事業内容：電気自動車2台によるカーシェアリング



協働事業者：タイムズモビリティ株式会社

##### ★カーシェアの認知度の向上、利用促進を図るための広報啓発事業（R6）

###### 事業の概要

対象：20代前半（これから車の購入を検討する層）

50～60代（ライフスタイルの変化があり車の購入（買替）を検討する層）

広報内容：カーシェアによるメリット（経済性、利便性他）、CO<sub>2</sub>排出削減効果 など

広報ツール（予定）：SNS広告・ショート動画（LINE、Facebook、インスタ、X等）  
新聞雑誌等紙面広告 など



## 主な施策の実施状況（令和6年度予算）⑭

### 自動車（モビリティ）部門

★新規☆拡充

#### 地下鉄車両の更新・駅照明等のLED化 42億3,933万円【交通局】

- ・新車両は、新技術のモーター導入で、使用電力量を約20%削減



#### 駐輪場の整備 2億6,900万円【道路下水道局】

<令和6年度の主な予定箇所> 地下鉄七隈線 橋本駅 駐輪台数：約900台

#### 自転車通行空間の整備 4億7,430万円【道路下水道局】

<令和6年度の主な予定箇所>

- ★県道都地姪浜線、市道博多姪浜線（昭和通り）、  
主要地方道志賀島和白線（海の中道）

#### シェアサイクルの推進 【道路下水道局】

- ・都心部より順次エリアを拡大し、市はポート確保などを支援  
シェアサイクルポート数：708か所（令和5年度末時点）



自転車通行空間の整備例

#### DX（電子申請等）の推進 【総務企画局、市民局、区役所 ほか全庁】

- ・オンライン手続きの使いやすさを向上
- ・申請結果通知等のデジタル化を検討
- ・公民館等におけるリモート窓口の継続運用

# 主な施策の実施状況（令和6年度予算）⑮

## 廃棄物部門

★新規☆拡充

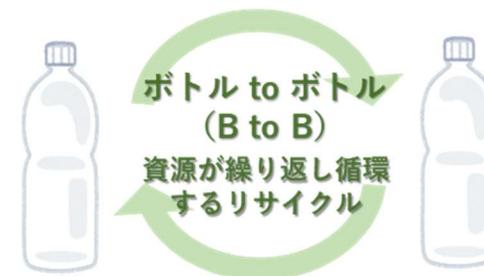
### プラスチックごみの分別収集導入に向けた取組み 5,820万円【環境局】

- ・令和8年度以降のプラスチックごみの分別収集導入に向け、戸別収集及び拠点回収のモデル事業を引き続き実施
- ・再商品化事業者の公募など収集運搬やリサイクル体制の構築に取り組む



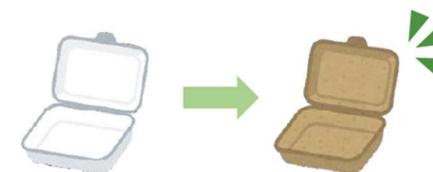
### ボトルtoボトルリサイクルの試行実施【環境局】

- ・市が回収した全ての使用済みペットボトルを対象に、ボトルtoボトルリサイクルを実施
- ・令和6年度は最適なりサイクル手法を検証するため、半量ずつケミカルリサイクル・マテリアルリサイクルを実施



### ★イベントでのワンウェイプラ削減支援 119万円【環境局】

- ・環境配慮型容器の普及促進のため、スポーツイベントや地域イベント等での導入支援や啓発を実施



### ★民間施設等における食用油の回収 204万円【環境局】

- ・スーパーマーケット等で家庭から出る食用油を回収し、バイオディーゼル燃料にリサイクル



# 主な施策の実施状況（令和6年度予算）⑯

## 廃棄物部門

★新規☆拡充

### ★事業所から出る食品廃棄物の資源化推進 8,315万円【環境局】

・食品廃棄物の飼料化、堆肥化、メタン化（メタン発電）に取り組む排出事業者に支援を行う。



#### ★飼料化・メタン化処理費用の補助

補助額	補助枠
1kgあたり4円 (通常：1kgあたり14円)	5,200万円

#### ★事業者向けの生ごみ処理機（堆肥化）購入費補助

補助額	補助枠
生ごみ堆肥を 全量自家消費する場合 ▶ 上限 50万円	1,875万円
使いきれない堆肥を 市で回収する場合 ▶ 上限 25万円	

#### ★保管場所整備費の補助

補助額	補助枠
上限 10万円	500万円

### ★食品廃棄ゼロエリア創出モデル事業 381万円【環境局】

・モデル小学校において、給食の食べ残しを減らす取り組みや調理くず等の堆肥化、メタン化施設での資源化に取り組み、効果や拡大に向けた課題の検証を実施。



# 主な施策の実施状況（令和6年度予算）⑰

## 再生可能エネルギー等施策

★新規☆拡充

### 水素リーダー都市プロジェクト

#### ☆まちづくりへの水素実装 2億5,826万円【経済観光文化局】

- ・九州大学箱崎キャンパス跡地のまちづくりにおいて、水素供給パイプラインの整備等の取組みを推進

#### ☆FCモビリティの導入促進 1億5,157万円【経済観光文化局、環境局、消防局】

- ・Moving eやFC給食配送車を活用した水素の普及啓発、FCゴミ収集車の導入、FC救急車の実証等

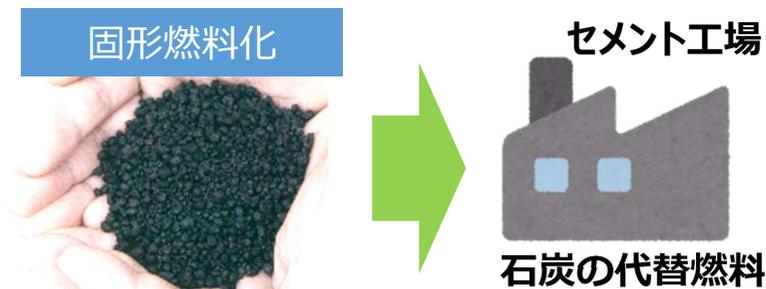


#### ☆下水バイオガス由来の水素ステーションの運営等 8,559万円【経済観光文化局】

- ・官民連携による下水バイオガス由来の水素ステーションの運営において、営業日を週4日から6日に拡大

### 下水汚泥固形燃料化施設【道路下水道局】

- ・下水汚泥有効利用量  
33,364 t（令和5年度実績）



## 主な施策の実施状況（令和6年度予算）⑱

### 炭素吸収施策

★新規☆拡充

#### 花粉発生源対策事業 4,843万円、森林環境整備事業 3,077万円、【農林水産局】

- ・ 荒廃する恐れがある森林の間伐などの整備を実施
- ・ 「伐って、使って、植える」森林資源の循環利用を一層促進



#### 地域産材利用促進事業 1億316万円【農林水産局】

- ・ 身近で豊富な森林資源を「伐って、使って、植えて、育てる」サイクルを回すため、関係者と連携し、様々な施設に木材を活用

#### ★照葉はばたき公民館・老人いこいの家 市内産材を活用した木造化【市民局、福祉局】

- ・ 市内産材を活用した150坪規模の木造公民館を新築



(仮称)照葉はばたき公民館・老人いこいの家(イメージ)

#### 水源かん養林の整備 5,569万円【水道局】

- ・ 水源かん養林のスギ・ヒノキの間伐、伐竹等57ha
- ★水源かん養林のスギ・ヒノキの主伐、広葉樹苗木の植樹3ha

#### 都心の森 1万本プロジェクト 1億1,300万円【住宅都市局】

- ・ 緑豊かなまちづくりを推進するため、市民や企業と共働し、都心部をはじめとして全市域における植樹運動を展開



# 主な施策の実施状況（令和6年度予算）⑱

## 炭素吸収施策

★新規☆拡充

### ★生ごみの資源化推進【環境局】

- ・中小事業者向けの生ごみ処理機(堆肥化)の購入費補助
- ・生ごみ堆肥の活用

事業者が使いきれない生ごみ堆肥を回収し活用  
事業者によるコミュニティガーデン等の取組みを支援



生ごみ (有機物)

生ごみ処理

土壌への炭素貯留、有機物の循環型利用の推進

補助額	
生ごみ堆肥を全量自家消費する場合	▶ 上限 50万円
使いきれない堆肥を市で回収する場合	▶ 上限 25万円
補助枠	
1,875万円	

### ★有機農業推進事業 465万円【農林水産局】

- ・農業者が有機農業にチャレンジしていくための環境整備を実施し、環境負荷を低減した持続可能な農業を目指す。

【取組内容】有機農業の研修会の実施、有機農産物のPR活動 など



※有機農業  
:化学肥料や農薬を使用しないこと  
で、環境への負荷を低減した農業  
生産の方法

### ★Fukuoka City スマート農業マッチングプロジェクト【農林水産局】

- ・農作業の効率化や省力化、生産性の向上を図るスマート農業の推進のため、市内生産者の課題やニーズと企業の技術やアイデアのマッチングプロジェクト

今津リフレッシュ農園に実証実験  
フィールドの整備を行うなど、今後  
スマート農業の社会実装を目指す  
企業等のチャレンジを後押し

- ・膜DAC技術を用いた小型ハウス向けのCO2施用装置の開発（Carbon Xtract株式会社）
- ・水やり・土の暖め・収穫の自動化で農作業の効率化・収益増（株式会社 アイナックシステム）
- ・低農薬・低肥料で高収量・高付加価値を実現する次世代農業（SACMOT s）

## 主な施策の実施状況（令和6年度予算）⑳

### 温暖化による影響の回避・低減（適応策）

#### 洪水・高潮・内水・土砂災害ハザードマップの提供

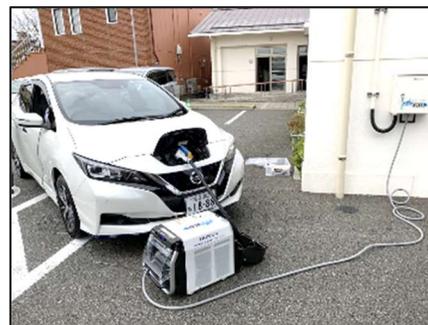
自然災害

- 区役所の窓口等におけるハザードマップの提供

#### 災害時の電力確保

市民生活

- 公民館など168指定避難所にEVからの電力を供給可能とする設備を設置
- 災害等による停電時には、EV庁用車や災害時連携協定締結の自動車メーカーのEVを「動く蓄電池」として活用し、避難所における電力確保を図る
- 市清掃工場のバイオマス発電電力での充電による継続性の確保、エネルギーの地産地消を推進



電気自動車から公民館への給電（イメージ）



内水ハザードマップ  
（博多駅周辺地区）

#### 浸水対策事業

自然災害

- 「雨水整備レインボープラン天神」第2期事業  
雨水管の整備（中部6号幹線等）
- 「雨水整備Doプラン2026」  
雨水管や側溝等の整備（令和5年度末、12地区完了）

#### 再生水利用下水道事業の推進

水資源

供給区域：1,528ha（令和5年度末時点）

供給箇所数：527箇所（令和5年度末時点）

<施工中>



<完成>



雨水管整備イメージ（中部2号幹線 内径5.00m）

# 主な施策の実施状況（令和6年度予算）②

## 温暖化による影響の回避・低減（適応策）

★新規☆拡充

### 熱中症に関する予防啓発・注意喚起

健康

「福岡市温暖化対策推進会議熱中症対策部会」のもと全庁一丸となって対策を推進。

- ・ 熱中症予防リーフレットなど啓発物の配布
- ・ 高齢者の見守り活動を行う地域ボランティアに、予防啓発チラシを提供し熱中症予防の声かけ
- ★ アビスパ福岡、大塚製薬(株)と共同で啓発動画を作成し、ソラリアビジョン、西鉄電車内モニター等のデジタルサイネージでの動画放映及びSNS等での配信
- ☆ 気候変動適応法の改正を踏まえ、ホームページやLINE、防災メールを用いて、熱中症警戒アラートの発表状況や暑さ指数の予測情報に基づき、警戒レベルに応じた注意喚起を実施



高齢者向け啓発チラシ



ソラリアビジョンでの啓発動画放映



西鉄電車内モニターでの啓発動画放映



熱中症警戒アラート発表状況のLINEによる配信

# 主な施策の実施状況（令和6年度予算）②②

## クールシェアふくおか2024の実施

健康

★新規☆拡充

- ・ コロナ下で中断していた、公共施設や民間施設等を涼み処として活用する「クールシェアふくおか」を再開
- ★ 協力可能な施設については、改正気候変動適応法に基づく「クーリングシェルター」に指定し、官民連携して熱中症対策を実施

### 【実施期間】

令和6年6月24日～令和6年9月30日

### 【協力施設】

462施設(うち294施設をクーリングシェルターに指定)

- 公共施設：公民館、市民センター、市民体育館、市民プール等
- 民間施設：ショッピングセンター等の商業施設、薬局等

### 【施設の広報】

- ・ 福岡市熱中症情報のホームページや福岡市Webマップに協力施設を掲載
- ・ 涼み処マップ（紙媒体）を作成し、区役所や市民センター等で配布



協力施設の目印  
(ステッカー、のぼり)



福岡市Webマップ



涼み処マップ（各区版）

## お問い合わせ先

### ①グリーンボンドについて

福岡市 財政局 財政部 総務資金課

電話 092-711-4592

FAX 092-733-5586

E-mail somushikin.FB@city.fukuoka.lg.jp

### ②福岡市の地球温暖化対策について

福岡市 環境局 脱炭素社会推進部 脱炭素社会推進課

電話 092-711-4282

FAX 092-733-5592

E-mail datsutanso-shakai.EB@city.fukuoka.lg.jp

〒810-8620

福岡市中央区天神1-8-1

HP <http://www.city.fukuoka.lg.jp/>

トップページ ⇒ 市政全般 ⇒ 予算・決算・市債・寄付等  
⇒ 市債のご案内 ⇒ 福岡市債・IR情報 ⇒ 福岡市グリーンボンド